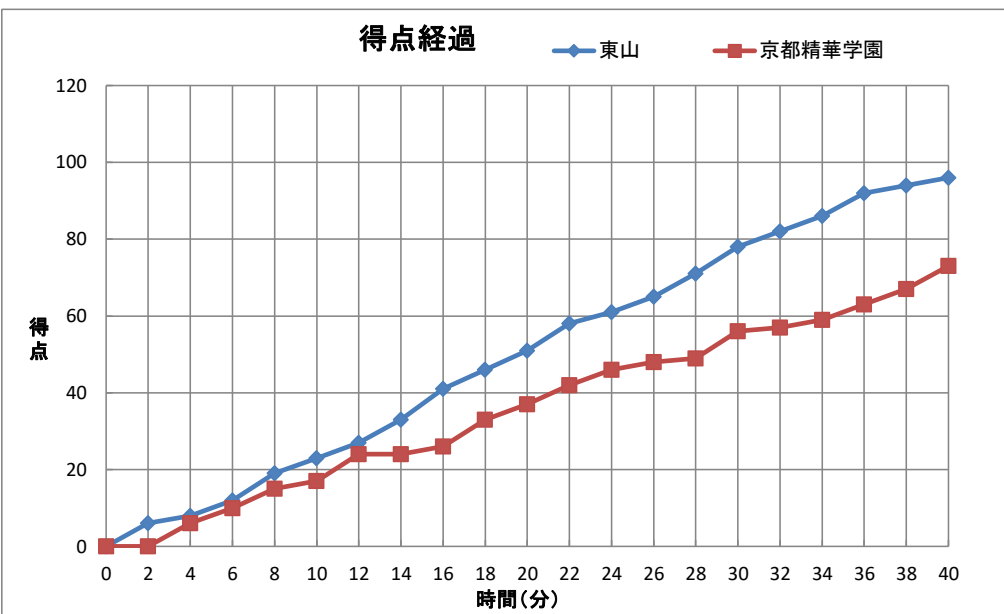




第71回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子		令和6年6月23日		14:45 開始																
決勝		和歌山ビックホエール		M																
◎	東山	96	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>28</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>27</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>17</td></tr> </table>			23	1st	17	28	2nd	20	27	3rd	19	18	4th	17	73	京都精華学園	(京都)
23	1st	17																		
28	2nd	20																		
27	3rd	19																		
18	4th	17																		
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則							
4	松島 慎弥	9	1	3	0	2	1	木下 梁	-	-	-	-	-							
* 5	瀬川 琉久	31	1	13	2	1	* 6	上野 叶翔	4	0	2	0	2							
* 6	カンダ マヒカ サロモン	8	0	4	0	2	* 7	善山 莞太	6	0	2	2	4							
* 7	南川 陸斗	9	1	3	0	1	* 13	新開 温矢	22	1	9	1	3							
8	小野寺 星夢	12	2	2	2	1	14	西村 晴太	3	1	0	0	0							
9	劉 俊杰	2	0	1	0	0	15	西本 圭次	-	-	-	-	-							
10	瀧川 隼汰	0	0	0	0	0	17	善山 奏介	-	-	-	-	-							
* 11	佐藤 凪	19	3	2	6	2	19	竹村 寅治郎	-	-	-	-	-							
12	藪 元太郎	4	0	2	0	1	21	杉原 拓	0	0	0	0	0							
13	大本 純弥	0	0	0	0	1	* 23	東郷 然	11	1	3	2	2							
* 14	中村 颯斗	2	0	1	0	0	32	中村 太優	3	1	0	0	0							
15	ウエトウ フウシャ エノツク	0	0	0	0	0	34	キモナ ディエウ	0	0	0	0	1							
16	湯川 真央	0	0	0	0	0	35	山崎 燦吾	-	-	-	-	-							
17	新井 伸之助	0	0	0	0	0	* 77	ソロモン レイモンド	22	1	9	1	3							
18	川口 律	0	0	0	0	0	89	松崎 大地	2	0	1	0	2							
コーチ	大澤 徹也						コーチ	山崎 翔一朗												
Aコーチ	山崎 健太郎						Aコーチ	常谷 拓真												
合計		96	8	31	10	11	合計		73	5	26	6	17							
クルーチーフ: 那須 弘幸																				
アンパイア: 佐藤 慎士 堤 健太郎																				



TO	1・2Q	3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	18:40	15:10	23:50	:	:	:	:

〔戦評〕

〔第1Q〕
両チームハーフコートマンツーマンでスタート、東山#5のドライブイン、速攻からの得点でペースを握ったかのように見えたが、京都精華の気迫あるディフェンスから、京都精華#13のドライブイン、#77のインサイドでの得点で一進一退の攻防が続く。23-17東山リードで第1Q終了

〔第2Q〕
両チーム、マンツーマンでスタート。東山#5のドライブ、速攻からの得点#11の3Pシュートでリードを伸ばす。対する京都精華は東山の厳しいディフェンスを前にシュートがなかなか決まらず、苦しい展開。しかし#77の速攻からの連続得点、3Pシュートで食らいつくも、東山#5#11を中心とするオフェンスが止まらず51-37東山リードで前半を終える。

〔第3Q〕
東山は#11の3Pシュート、#7のインサイドでの得点で一気に波に乗る。苦しい展開の京都精華はディフェンスをオールコートに変え、#77のインサイド、#13のバスケットカウントなどで流れを掴みたいが、落ち着いたゲームコントロールで東山が京都精華を寄せ付けない。しかし京都精華#23のジャンプシュートなどで必死に食らいつくも78-56で第3Q終了。

〔第4Q〕
京都精華は気迫あふれるディフェンスから#77のインサイド#13のバスケットカウントなどで粘りを見せるも、東山#5のドライブイン、#4の闘志あふれるゴール下での得点などで得点を重ねる。最後まで落ち着いた試合運びで貫禄を見せた東山が優勝を飾った。

戦評: 土橋 寛己 記録: 向陽